



# 「きれいな環境 すこやかな生活」運動

## 全町民の参加を期待

町保健衛生対策協議会では、県、町、町公民館の後援町内各部落、町婦人会連合青年会、町内各小中学校協賛のもとに「きれいな環境、すこやかな生活」実践運動を行なうことになった。

この運動は生活環境の健康新明朗化を図り、町民の自発的な生活改善と合理化がされるよう全町民が参加した実践強調運動を展開しようとするものであり、その目標方法などが発表された。

◎運動の目標

一人一日五分間清掃と一年一回の結核健康診断

をうけ次のことを実施する。

①大掃除による家の内外の清掃の徹底

②地域社会全体の清掃(特に公共地域)

③公衆衛生思想の普及

④運動の方法

⑤「きれいな環境、すこやかな生活」を主題とした地域組織活動の積極的な実施。

⑥結核健康診断一〇〇%実施。

力とハエを撲滅

### 皆んなの協力が力ギ

町では春の大掃除実施に先立ち去る二十一日西中学校において環境衛生講習会を開いた。

校において環境衛生講習会を開いた。先立ち去る二十一日西中学校において環境衛生講習会を開いた。

町内の各部落代表者をはじめ婦人会、青年会幹部など多数が参加、鷹巣保健所大谷係長のかやハエの生れやこの講演から主な事項をあ

ついて、たしかがあがろう。これ

は新生活運動の合言葉である。

この運動を一つ一つ着実に進めている会が摩当新生活協議会である。

これまでの、だ性や悪習慣からぬけ出した新しい生活を確立しようとして昨年十月うぶ声をあげたもの。

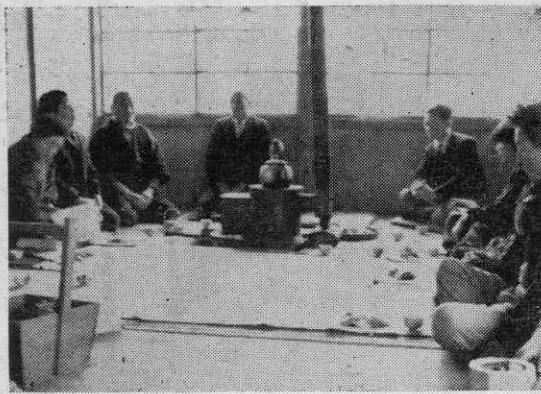
最初に農休日を決め、この日を中心にして青年、婦人、成年、老人等それぞれ各層から話し合いをして全体会議で実践事項を決定するいわば部落ぐみの活動を行なつてゐる。

これまでの活動は冬ごもりの間税金の問題や農業

「お互いの善意とちえの光が私たちの生活を明るく豊かにする限りない幸

せをもとめて、ひとりひとりがもういちどくらしを見なおして希望にみち

## 町づくりグループ 一明るく豊かな生活をもとめ 摩当新生活協議会



『お互いの善意とちえの光が私たちの生活を明るく豊かにする限りない幸

せをもとめて、ひとりひとりがもういちどくらしを見なおして希望にみち

かの生活を明るく豊かにする限りない幸

せをもとめて、ひとりひとりがもういちどくらしを見なおして希望にみち

かの生活を明るく豊かにする限りない幸

せをもとめて、ひとりひとりがもういちどくらし

かの生活を明るく豊かにする限りない幸

せをもとめて